

実現方策： 自然を守る学習や体験を充実する。

Gr	実現プラン	付箋の記載事項
A グループ	<p>・リーダーの養成と組織化をすすめ、継続学習の場をつくる。</p>	・生き物調査や体験(子ども会・育成会・学校)
		・自然の学びや体験のできる団体(グループ)を作る。
		・景観の良い場所で写真撮影会などを行い、自然を美しく残そうとする機会を増やす。
		・小学校単位で体験授業をもってもらう。
		・キャンプやボーイスカウト等のイベントをたてる。
		・自然ナビゲーターを設置し、子ども向けや大人向けの河内自然学習会を行う(ハイキングなど)
		・【ひとづくりから】環境対策研究グループの設立(中高大学生の代表者4名程で12名)
B グループ	<p>・市民(特に児童生徒)が活動しやすい学習森や里山歩道を整備し、サークル活動で利用する。</p>	・活用できる自然や施設を情報化して、全ての住民に提供できるネットを作る。
		・児童や生徒が活動しやすい学習林や里山遊歩道を整備する。
		・夏休みに小学生に自然に親しむキャンプ等の体験をさせる。
		・水路魚道の設置をし小学生の体験を図る。
		・各地域の自然を活かした体験学習を推進する。
		・自然の中で人と人との輪を広げて色々な体験をする。
		・里山を利用してハイキングコースを設定して散策してもらう。
	・フクロウとホテルを観察する催しを作る。	
C グループ	<p>・幼小中の学習体験プログラムをつくり有識者による実践指導をする。</p>	・学校や地域自治会、老人会と協力し自然に触れ合う機会を増やす。
		・自然に触れ合うイベントを企画する。
		・小中学校と地域が連携して水と緑に触れ合う授業を開催する。
		・学識経験者や地元の自然の有識者から自然の素晴らしさや大切さを知る機会を設ける。
		・小学校で学ぶ体験学習を地域データからできると良い。
		・コミセンやグラウンドワーク西鬼怒などで行っている講座の一般化を図る。
		・森林や水辺を中心に子どもや大人が参加できる「生き物調査」を年2回行う。

実現方策： 水と緑にふれあう機会を増やす。

Gr	実現プラン	付箋の記載事項
A グループ	<p>・自然と触れ合う地域づくりのマップをつくり自然に親んでもらう。</p>	・川辺や水中の様子について地域や学校行事を多く実施する。
		・季節ごとに水場や緑の多い地域での催し物を行う(花や植樹など)
		・ホテルの集い等、水がキレイでなければ生きられない生物がいることを現場で教えられる事業を実施する。
		・ホテルの観察会や魚・昆虫に触れ合う機会をつくる。
		・河内のおいしい水をペットボトルで販売する(地域ブランドとして)
		・環境対策TPの設立(20代30代40代50代60代各2名の人選で各分野のメンバーから15名程度)
		・森林浴のできる遊歩道の指定
B グループ	<p>・湧水池や河川(鬼怒川・西鬼怒川・山田川等)を利用した全ての市民が参加したいようなイベントを実施する。</p>	・河川や里山保全ネットワークを作り定期的に取り組む。
		・里山体験交流館的な施設を作り、全ての市民が参加したいようなイベントを実施する。
		・湧水池や谷川の地域の見学の日を設ける。
		・緑と水がきれいに設けられているので、人の触れ合いの場所にしていく。
		・山田川や根堀川を利用して釣り教室を開催する。
		・田中の汚水処理所を地域の人に知ってもらうイベントを行う。
C グループ	<p>・地域内の公園等を増やし、充実させる。</p>	・オリエンテーション等を企画する。
		・親水公園を充実させる。
		・白沢地区の水車や用水の鯉などを広報する。
		・「桜つつみ」を更に発展させ地域全体で実施する。
		・岡本西小のピオトープを参考に地区や公共施設で広げる。

実現方策: 自然を守るひとの輪をつくり地域力を高める。

Gr	実現プラン	付箋の記載事項
A グループ	<p>・河内自然環境保全協議会を設置し、地域力を高める。</p>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・自治会・地域のグループ等で学び合う。公園や祭り、道路への花の植栽</li> <li>・小さな里を作り、誰もが親しめるようにする。</li> <li>・環境保全を願う団体が別々ではなく一体となって議論し協力できる場を設ける。</li> <li>・白沢グリーンパークなどでキャンプやハイキングなど自然ウォッチングのイベントを催す。</li> <li>・地域の学生(宇大生や)教授と共に河内自然を守る楽しむ会を作り、レジャーのマナーやルール、楽しみ方を学ぶ。</li> <li>・若者にも親しんでもらえるようなイラストマップを自然を楽しめる場所や食材などを独自に作成する。</li> <li>・すでに機能している地域の皆さんがいるので再度立ち上げる。</li> </ul>
B グループ	<p>・児童から父兄までを対象にした生き物調査や自然観察会等を開いて、自然の大切さを学ぶためのサークル活動を実施する。</p>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・児童や父兄を対象にした水生動植物の観賞会等の実施</li> <li>・小中学生を対象に校外活動の一貫として取り入れる。</li> <li>・自然に触れ合えるウォーキングフェスタを毎年開催する。</li> <li>・自然の多い地域で人と人との触れ合う機会を作る。</li> <li>・そば祭りや芋煮会を定例行事にする。</li> <li>・生き物調査や自然観察会等を開いて自然の大切さや文化を守る場を</li> <li>・自然公園を作り、触れ合う場を作る。</li> <li>・緑の多い場所で自然と触れ合いながら学習をしていく。</li> <li>・西の地域(グリーンタウンや太陽が丘)に自然公園を作る。(旧動物園の跡地)</li> </ul>
C グループ	<p>・全市一斉清掃の機会を捉え、クリーンな地域にするための活動をする。</p>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・地元の自然を守るクラブ等的なもので支援者を募る。</li> <li>・美しい森林にするよう地主だけではなく市民もボランティアで協力する。</li> <li>・不法投棄などされないクリーンな地域にするための活動をする。</li> <li>・ホテルまつりを行う。</li> <li>・高齢者が中心となって河川の大規模清掃を実施する(子どもも参加)</li> <li>・クリーンな川にするために河川愛護会を活発にして多くの人に参加してもらうようにする。</li> <li>・つまるところ自治会かもしれないが、自然を守る作業時にボランティアを募る。</li> <li>・いつも通る道で景観の良い所を広報し、人を集める。</li> <li>・地域の農産物で収穫祭を開催して特産物を作る。</li> <li>・ウォーキング等を開催して、緑に囲まれた田園風景を目で見て肌で感じてもらう。</li> <li>・全市一斉清掃を拡充する。</li> </ul>

テーマ『自然環境、都市環境』 グループ協議結果 **【都市環境】** 実現プラン

実現方策： 情報を共有し安全なまちづくりを進める。

Gr	実現プラン	付箋の記載事項
A グループ	<p>・住民の安全意識を高めるための拠点(電子掲示板)を整備する。</p>	・子ども見守り隊の連携を図る。
		・地域のグループを再認識して共に学び合う。
		・防犯パトロールカーを定期的に巡回させる。
		・機能的な地域拠点づくりから
		・駅前や地区市民センター前等, 電子掲示板を設置し地域のニュースを発信(防犯など)
B グループ	<p>・地域防災マップ等を活用した安全システムを構築する交通安全施策をして, 住宅密集地の違法駐車や無謀運転を防止する。</p>	・ご近所や自治会員同士の声かけ(まち清掃活動時などでひとの輪をつなぐ)
		・地域防災マップ等を活用した安全システムを作り, 住民の共有化を図る。
		・環境学習センターがありますので, そこで勉強する機会を増やせないか。
		・防犯カメラの設置推進を図り犯罪のないまちをめざす。
		・かわち地域情報紙に地域内犯罪事案をスポット情報として載せる。
C グループ	<p>・「地域を守るパトロール隊」をつくり, 情報収集を図り地域全体に発信する。</p>	・多くの人の色々な情報を取り入れて, 安心して住めるまちにしていく。
		・自治会の加入率をあげる。
		・「自然を守るパトロール隊」をボランティア等でできたら良いのだが
		・各自治会で年1. 2回協議してもらう。
		・フェイスブックをまちづくり協議会で立ち上げて広報する。
		・消防団と地域リーダーが中心となり全地域一掃(年4回)の見回りパトロールを行う。
		・見通しの良い道路・街路樹づくりをする
・空き家を少なくするために空き家の利用推進をする。		
・就学区域を統一する。		

実現方策： 花と緑にあふれたまちなみをつくる。

Gr	実現プラン	付箋の記載事項
A グループ	<p>・花と緑のコンテスト等を実施して, 明るい「まちなみ」づくりを啓発する。</p>	・昔, 催した子供会の花壇コンクール等も良いと思う。
		・道路や公園に花壇を作る。彼岸花の植栽やフラワーボットの配布
		・自治体での道路やあぜ道に花を植える。
		・季節の花を花壇に植える活動「寄せ植えコンテスト」などイベント化しても良い。
		・記念樹や花々を増やし「かわちの森」として名所にする(みどりの公園の裏通り)
		・地域の花を紹介する。(しだれ桜やカタクリの花, ショウジョウバカマの群生地)
		・桜づつみの管理できる団体を多くする。
		・自治会(地区)単位で花の緑のコンクールをしてはどうか。
B グループ	<p>・公園や休耕地を利用した大型花壇を作る。 ・花と緑の活動が充実した自治会を表彰する。</p>	・各家庭の門前にプランター等で草花を植える(花のあるまち)
		・公園や休耕地を有効利用し, 都市部や農村部合同花園等を作る。
		・町内会を中心に花を植えて楽しむ機会をつくる。
		・空き地を利用して花を植えたりすれば人と人との和も広がる。
		・各団体が協力しあい, きれいなまちなみを作り, 犯罪の少ないまちにする。
C グループ	<p>・「花いっぱい運動」を全地域で展開する。</p>	・花と緑の良い自治会を表彰する。コンテストを開催する。
		・彼岸花ロードの推進をし景観を良くしていく。
		・「花いっぱい運動」(仮称)を春・夏・秋に行い, 絶えず美しい花が咲いて見られるまちにする。
		・うっそうと生い茂った林ではなく, 間伐等を行い手入れされた林にする。
		・街路樹の管理を拡充する。
		・花いっぱい運動の展開や各戸への花の種子を配るか希望者に苗を配る。
		・自治会ほか団体が定期的(年3回)に花いっぱい運動を推進する。
・「花でおもてなし」岡本駅や拠点施設はもちろん一人一針運動する。		
・「資源を大切に」ごみは再利用して少なくして美しい住環境にしていく。		
・小中学校と地域とで話し合って〇〇街道や〇〇ロードなどに木や花を育て管理する。		

実現方策：農村部と都市部の交流を図る。

Gr	実現プラン	付箋の記載事項
A グループ	<p>・地域の食材を使ったレシピ交換会や試食会(体験交流事業)を実施する。</p>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・農業体験をしたいひとを募集し、農村の良さを伝える。</li> <li>・農村部で花等の苗をつくり、都市部で植栽する。</li> <li>・体験交流事業を行う(市の事業で実施している。)田植えや稲刈り、ホテル観察、もちつき</li> <li>・全体的に市構想である「ネットワーク型コンパクトシティ形成に沿った都市環境づくりを進める。行政・地域・企業・商工会・学識者との協働連携が必要</li> <li>・農村部の方の作った作物を都市部の方に調理してもらうとかレシピ交換</li> <li>・地区市民センターのホールなどで交流会をする(都市部と農村部)野菜販売会や試食会等</li> <li>・それぞれの地域の子どもたちの交流を(小学校ごとに)企画する。</li> </ul>
B グループ	<p>・地域ブランドを作り、地産地消の農・林・生産物を造り、地元だけのものとせずメディアを活用しアピールする。</p>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・地区一丸となって地域ブランドを作り上げ、地産地消の農林生産物を作り出す。</li> <li>・新しいセンターを利用して農村部と都市部の交流会を実施する。</li> <li>・農村地区で誇りを持って実施している行事を知らせていただき、都市部参加を呼びかける。</li> <li>・地元だけのイベントとせず情報紙等を活用しアピールする。</li> <li>・新鮮野菜の直売所を設置し交流を図る。</li> <li>・各自治会でお囃子をできるようにする。</li> <li>・楽しいイベントを増やして情報を共有する。</li> <li>・伝統文化を教育プランに取り込み、小学校で教える。</li> <li>・農村部の人達と交流の機会をつくり、色々なことを学んでいく。</li> </ul>
C グループ	<p>・農業体験を実施する。 ・お祭り等のイベントを行う。</p>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・相互の意見交換の場を設けて交流を図る。</li> <li>・郷土芸能の活用</li> <li>・神社の社の有効活用</li> <li>・農村部の暗い道や星のきれいな地域を守る(静かさを売りにする。)</li> <li>・全地区で若者が中心となり年2回芋煮会を実施する。</li> <li>・都市部の若者が年2回米づくり体験を実施する。</li> <li>・農業体験を実施する。</li> <li>・農業体験の機会をつくる。</li> <li>・農村部は自然を壊さないようにして、駅前周辺部は活性化を図る。</li> <li>・それぞれの地域で自慢の文化財イベントを計画し双方の交流で安心なまちづくりをする。</li> <li>・農業体験の機会をつくる。(受け手を探す。)</li> <li>・サイクリングターミナルやサイクリングロードの整備※ウォーキングロード併設(駅前、自治センター、コミプラ、地区の公園、自治公民館の駐車場)</li> </ul>